

家庭クラブだより

2学期号 発行：平成29年12月22日 編集：家庭クラブ本部 2年生

被服デザイン科2年 山川莉加さんが支部大会でホームプロジェクトの発表をしました。5歳児の妹の文字を覚える挑戦を応援する研究です。保育士の方へのインタビューも行い、研究を深めました。

支部大会

9月



支部大会・県大会で研究発表しました！

県大会

11月



家政科3年菅野桃羽さん、新居田早紀さん、西村美紅さんが中心になって創立100周年記念式典に関する家庭クラブの取り組みをまとめ、県大会で発表しました。この研究は優良賞を受賞しました。

校外の研修にも参加しました！

2年生本部役員 県指導者養成講座へ参加(関谷学校)【8月】



組紐、ふろしきラッピング、手話の3つを体験しました。結びの由来や歴史的背景、「包む意味」や、「包」という漢字の成り立ちなども学び、ラッピングへの関心が深まりました。また、他校の生徒と家庭クラブの現状や、改善点などを話し合いながら交流を図り、普段の学校生活では味わえない刺激を受けることができました。



鳴らそう未来へ
希望の鐘を in 長崎
【8月】

第65回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会に学校から代表2名が参加し、各地域代表の研究発表を聞きました。

中国・四国代表、岡山県立真庭高校のHP発表もあり、どの発表も各地域の特色を生かした実践活動をしていて、興味深いものばかりでした。FHIスカラシップ留学生報告では約1年の留学体験を聞き、同じ高校生が海外に行き様々な経験をしていることに感銘を受けました。

服のチカラプロジェクト 活動報告

段ボール箱
28個分
(約3700着)
集まりました！

ユニクロ主催の子ども用古着を回収し、衣料品に困っている難民の方々に届けるプロジェクトに参加しました。



7月

3年生のクラブ員はユニクロ社員の方から、武力紛争などから逃れて国境を越えてくる難民の背景や、必要な支援について学びました。ユニクロはUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)と協力し、1000万着の服を世界中の難民の方々に届ける活動をしています。



8月

本校ではこのプロジェクトへの参加は3年目になります。今年はより多くの子ども服を集めるためにどのような活動をしたらよいか本部で話し合い、近隣の小学校や保育園に広く呼びかけ、また、保護者の方に回収の案内が届くように工夫しました。



10月

ポスター、チラシ、飾り付けをした段ボールを、協力校に本部役員が持参し、校内でも回収を始めました。



協力校：

六区保育園 彦崎保育園
第一・第二・第三藤田小学校

11月

各協力校からも本当に多くの子ども服が集まりました。3年生奉仕部、1・2年生有志、本部役員で仕分け作業をしました。合計で段ボール28箱分(約3700着)もの子ども服が集まり、ユニクロのセンターに発送することができました。

協力校にポスターと
手紙で報告



12月

私たちはこの活動を通して、行動を起こすことで大きな力になることを実感しました。協力校にお礼と活動報告も行いました。

みなさんの思いを、難民の方々に届けます！